



田淵俊夫《草清池》

再興第95回
院展

2010年
12月9日(木)～23日(木・祝)会期中無休
そごう美術館[横浜駅東口]
[そごう横浜店6階]

[開館時間]午前10時～午後8時

*最終日は午後5時閉館

*入館は閉館の30分前まで

[入館料]大人800(600)円
大学・高校生600(400)円
中学生以下無料

*消費税含む。

*()内は前売りおよび20名さま以上の団体料金。

*障害者手帳をお持ちの方、およびご同伴者1名さまは()内料金にてご入館いただけます。

主催＝そごう美術館、神奈川新聞社、TVK(テレビ神奈川)、日本美術院
後援＝神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会
協賛＝そごう・西武



SOGO

横浜

電話 045(465)2111 大代表
www.sogo-gogo.com

再興第95回 院展

日本美術院は、横浜出身の岡倉天心が中心となって1898(明治31)年に創立した日本画の研究団体です。日本美術の伝統を維持しながら、自分たちの時代の新しい美術を開発、樹立することを目指して意欲的に活動し、当時の日本画壇に清新な息吹を与えました。

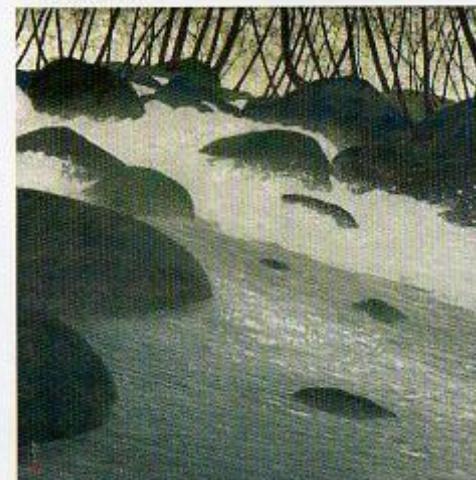
1906(明治39)年から1913(大正2)年の間、日本美術院の研究所は上野の谷中から茨城の景勝地五浦に移りますが、1914(大正3)年、前年に没した天心の志を受け谷中にて再興。「藝術の自由研究を主とす 故に教師なし先輩あり 教習なし研究あり」と再興の綱領が宣言され、横山大観を中心に、下村観山、今村紫紅、速水御舟、安田敷彦、小倉遊亀、平山郁夫など近・現代日本絵画史を彩る俊英が多く輩出されました。このように日本美術院は、創立から111年を超えた今もなお、日本画壇の中心的な団体として活躍を続けています。

再興院展は、1914年以来続く日本美術院による日本画の公募展です。毎年9月の東京展を皮切りに、全国を巡回し、岡倉天心の出身地である神奈川・横浜での開催は今年で24回目を迎えます。神奈川はこれまで、また現在多くの作家がアトリエを構えてきた土地です。この山海の自然豊かで奥深い文化的風土は、今も松尾敏男、伊藤彥耳ら県内ゆかりの作家たちに愛され、さらには次代の作家たちへと受け継がれています。

本展では、同人作家33点をはじめ、受賞作品、および神奈川県出身・在住作家の入選作品を含む総計91点を展覧いたします。今年の第95回展、来秋第96回展は、東京都美術館の改修に伴い、全作品のサイズが約100号となります。従来の院展とは一味違った、作品の競演をお楽しみいただけることでしょう。現代日本画の精粹の数々をぜひご覧ください。



松尾敏男《劍》



手塚雄二《奥人面飛沫》



岸野香《Trip》日本美術院賞(大観賞)



福井爽人《古城試》



倉島重友《土の家》文部科学大臣賞



村岡貴美男《曼珠沙華》日本美術院賞(大観賞)



伊藤彥耳《春・ひとときの出会い》

本年度受賞者

内閣総理大臣賞

吉村 誠司《祭壇(パリ島にて)》

文部科学大臣賞

倉島 重友《土の家》

日本美術院賞(大観賞)

岸野 香《Trip》

村岡 貴美男《曼珠沙華》

日本美術院同人作家、受賞作家による

ギャラリートーク

時間:各日午後2時から

場所:そごう美術館展示室内

【参加費無料】

ただし、美術館入館料が必要となります。

12月11日(土) 松尾 敏男

12日(日) 伊藤 彰耳

18日(土) 吉村 誠司

19日(日) 村岡 貴美男

お問い合わせ
そごう美術館

郵便番号220-8510

横浜市西区高島2-18-1

電話045(465) 5515(美術館直通)

<http://www.sogo-gogo.com/museum/>